新教出版社・新刊案内　2021 年 7 月 26 日発売

目はかすまず 気力は失せず

講演・論考・説教

関田寛雄［著］

四六判・並製・320 頁・本体 2,000 円（税込定価 2,200 円）・ISBN 978-4-400-51765-8　C1016

モーセのごとく使命に生きる信仰

1977 年のヨハネ福音書 1 章に関する講解説教から、一昨年のキリスト教学校人権教育セミナーでのアブラハムの生涯に関する主題講演まで、40 余年の間に語られた 48 編の講演・論考・説教を収録。93 歳になる著者を現役の牧会者・説教者・神学者として生かしめる福音の核心を、余すところなく伝える。

関田寛雄（せきた・ひろお）

1928 年、福岡県北九州市に生まれる。青山学院大学大学院、マコーミック神学校、アンドヴァー・ニュートン神学校卒業後、青山学院大学文学部教授、日本基督教団桜本教会および川崎戸手教会牧師を経て、現在、日本基督教団神奈川教区巡回教師、青山学院大学名誉教授。主な著書『あなたはどこにいるのか』（一麦出版社）、『十戒・主の祈り』『キリスト教入門・教会』『聖書解釈と説教』『われらの信仰』『「断片」の神学』（以上、日本キリスト教団出版局）など。

【目次より】

序　「老い」を生きるための黙想

第Ⅰ部　キリスト教学校人権教育セミナーから

預言者エリヤにおける宗教と国家／この最も小さい者の一人にしたこと／使命に生きるとは「命を使う」こと／あなたの体を献げなさい／一人一人の出会いの中から／なぜキリスト教学校に人権教育が必要か／平和のために働く者としてください／福音に生きる、福音を命として いただく／「人権教育」をすべての教育の原点に／正義の目的は共に生きる世界をつくること／希望を持って生きるために／この最後の者にも／在日の子どもたちとの出会いから／アブラハムの生涯に学ぶ

第Ⅱ部　今日における宣教の課題

「和解の務め」に生きること／まず行きて和解せよ／今、思うこと／敵意という隔ての壁を取り壊す／戦後七〇周年の夏を迎えて／アダムとエバへの贈物／傷だらけの主の復活／東日本大震災に直面して／二人の教区総会議長／わが記念としてこれを行え／和解の務めに立つ／汝の敵を愛せよ／見張りの務め／軍隊慰安所のマリヤ像／ガリラヤとエルサレム／無用の用／石が叫ぶ／小さいひとりから始める

第Ⅲ部　説教者として生きる

説教とわたし／説教学的循環を生きる／暗黒の中の光／光の証人／光は世に来た／血すじによらず／言は肉体となった／荒野の声／わが後に来る者／見よ、神の小羊／わたしはそれを見た／何を求めているのか／邂逅／ナザレの人イエス